



企業訪問レポート

感謝の気持ちをこめて安心・安全・健康を提供

吉野ストア株式会社 奈良県吉野郡大淀町

1951年（昭和26年）創業の吉野ストア株式会社は、一昨年に創業60周年を迎えた。その間、大淀町、吉野町、五條市をはじめ奈良県南和地区を地盤として店舗網を拡大。今では奈良県を代表する食品スーパーに成長した。

店舗が存在する商圈において過疎化、高齢化の波が押し寄せている状況下、これまで吉野ストアを支えてもらった顧客に、安心と安全な商品を提供し、生まれ育った地域で快適な生活を送ってもらえるような環境づくりの手助けをするために、2012年4月より移動スーパー事業を開始し、さらなる地域密着戦略を展開している。

会社概要



会社名：吉野ストア株式会社
所在地：奈良県吉野郡大淀町下淵 360
電話：0747-53-0688
FAX：0747-53-0677
創業：1951（昭和26）年
設立：1973（昭和48）年12月
代表者：代表取締役社長 小山 康之
資本金：1,000万円
従業員：220名
事業内容：スーパー経営
URL：<http://www.yoshinostore.com>



豊富な品揃えの大淀新野店（上）

バックヤードの壁が取り払われ、生鮮の加工プロセスも見て楽しめる高取店（下）



徹底した地域密着路線で確固たる地位を築く

徹底した地域密着路線で、「地域になくてはならないスーパー」として確固たる地位を築いている食品スーパーの吉野ストア株式会社。店舗は移動販売店舗を含め7店舗。その特徴的な地域密着戦略は、「感謝の気持ちを込めて、安心・安全・健康を提供する」をモットーに、地域住民の細やかなニーズに応えることにある。

同社は、来店する顧客にできるだけ名前でも声掛けし、飛び切りの笑顔と感謝の気持ちをこめて接することや、店舗の空きスペースで餅つき大会等のイベントを開催し、地域住民との「近所つきあい」を深めることを徹底することなどにより、地域住民の心を掴んでいる。

また同社の商圈においても過疎化、高齢化が進み、「買い物に行きたくても様々な事情で行けない」「自分の目で品物を見て買い物がしたい」という顧客の要望に応えるため、小山康之社長は、2012年4月から、奈良県で初めて「拡幅式移動店舗販売車」を使用する移動スーパー事業を開始した。



停車後、車体を拡幅でき、広い販売スペースを確保できる拡幅式移動店舗販売車の「ヨシスト号」

奈良県初の拡幅式移動店舗販売車「ヨシスト号」

「ワン・ツー、ワン・ツー♪」365歩のマーチに乗って、静かな中山間地の集落に大きな3トントラックが到着した。同社の「ヨシスト号」だ。

同社は、路線バスの運行本数の減った川上村や吉野町の一部地域を中心に、毎週延べ58ヵ所をヨシスト号で周回し、移動販売を展開している。

商品棚や冷蔵庫には、野菜、魚、肉の生鮮3品から惣菜やジュースの他、シャンプー、トイレットペーパーなどの日用品を含め、約800アイテムの商品がそろう。

中山間地を走る移動販売車は、他社では商品販売価格を高めに設定しているケースも多いが、ヨシスト号の価格は、同社の実店舗で販売している価格と同じである。

午前中の販売地域を周回した後、昼の休憩時に不足している商品を同社の大淀新野店から届けてもらい、商品棚や冷蔵庫を一杯にし、朝一番と同じ状態で午後からの販売に備える。

販売当初、地域の住民は「また、撤退していくのでは…」と半信半疑もあったが、予想以上の品数と販売員の笑顔や親切な対応にすっかり魅了され、今では「ヨシスト号の到着が待ち遠しい」との声が圧倒的に多い。



ヨシスト号が到着すると列をつくる住民（上）商品棚に並ぶ商品をじっくり眺め買い物を楽しむ（右）



店員は、地域住民にきめ細かく声をかけ、ヨシスト号の乗降時の手助けをしたり、足腰の弱い高齢者の方々には、一緒に会話を楽しみながら荷物を自宅まで送り届けるケースも多い。

また、ヨシスト号の近くには、椅子とテーブルを用意し、買い物を済ませた住民の方々が集まり、お茶を飲んだり会話を楽しんだり、モノを売る場所だけでなく、地域住民の「絆作り」につながるコミュニティの場も提供している。



買い物を終えて、買い物客同士が気楽におしゃべりを楽しむ

一通りおしゃべりを終えると、住民たちは三々五々帰途に着くが、どの表情も皆、晴れやかで生き生きとしているという。店員たちは、「あの明るい表情を見ると、我々も元気になる」と笑顔を絶やさない。

小山社長は「人と人との出会い・集いを通じてはじめて地域は維持され、安定性が高まる。中山間地のご高齢の方に心の通ったふれあいの場を提供することは、移動スーパーならではの事業であろう。“ハイテクではなくハイタッチ（人間的なふれあい）”で、お世話になっている地域住民の皆様へ恩返しをしたい」と熱く語る。

恩返しする地域をさらに広げたい

「移動スーパー事業は、中山間地域の住民に安心・安全・健康をお届けするために、そして高齢者の方々に元気になっていただくことを願って、実施に踏み切った。地域を定期的に回ることが高齢者の方々の安否確認や見守りにもつながっていくことを期待しながら、この事業をもっと拡大し、恩返しする地域をさらに広げたい」と小山社長は意欲をみせる。

今後、奈良県の高齢化は、全国平均よりも早いスピードで進んでいくことが予想されている。

「買い物弱者に対する支援は、ますます重要視されてくるはずだ。お客様が生まれ育った地域で、快適な生活を送っていただけるような環境づくりに挑戦していきたい」と語る小山社長。感謝の気持ちを伝える移動スーパー事業はさらに進化していく。（橋本公秀、吉村謙一）